

道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK



じっくり見たいヒストリーコーナー。各分野の代表的な物や出来事がタペストリーのように。



2020年に科学技術分野の文部科学大臣表彰を受けたNinjaH2R開発者の5人がどどーん。



本物のジェットスキー大好き！ゲーセンにあったであろうこのVRゲーム、カフェに置きたい。

2023年の暮が明けました。神々しい朝日は拝めましたが、相変わらず各地で環境問題が叫ばれ、戦いの炎は収まらず、人間界は問題山積み。今年こそは世界中に笑顔があふれますように...。それにしても、年を重ねると時間の速さは矢の如し。やりたいことは即実行しないとカウントダウンになってしまうので、とにかく「思い立ったら動け！」を心掛けています。

昨年未だ、思いがけず楽しい旅が実現できました。たった一泊二日ですが、コロナ禍でご無沙汰していた夫の家族や親戚に会うため、夫婦で往復850キロの神戸ドライブが叶ったのは、走ったら親戚宅でした。まくと、もう驚きの連続。2006年にできたこの博

なる義母は、とても元気で、物館、川崎重工業のすべてひと安心。義兄と義姉、姪の分府が紹介され、どれを私、いい時代を生きてきたと、その子供たちが集まり、みても興味津々のことばかなど改めて思ったり。

社会科見学の小生や私も同世代の見学者(紛れもなくライダー)に混ざって、松方幸次郎氏の功績に感謝を受け、続く壁一面に描かれたヒストリーでは、バイクフロアを巡りながら、体験型ゲームでも燃えま

く、コロナが少なくなったので、思い残すことはいくらでも、史が写真入りで記され、い

紹介された川崎船舶で済成長を遂げてきたのが、(2018年)省エネタイプの五万五千積貨重量製造の陸用タービンが開発されたのね。なびとつとつと、つが感慨深く、当時の様子

が浮かんで来ました。歴代のバイクやレースマシンを眺めているだけで、20代のレース&ツーリングシーンが懐かしく思い起こされ、熱くて凄まじい時代だった。大勢の見学者や関係者の喜びが伝わってきて、う

上機嫌で異隈を闊歩し、海パワーをたっぷり頂いて帰路につきました。またもや高速道路を降りたら20分

で自宅という疲れ知らずの旅でしたが、「楽しかったね」と何十回聞いたことか。毎年行きたい場所がまたひとつ増えました。

道路通称は、第9次道路整備五箇年計画と続く全国道路標識週間などを通じて昭和50年代終盤あたりから全国的に動いてきたことを

見ました。道路通称の検討は都道府県から市町村へ取り組みへと展開して

東京では一連の動きに先行して、昭和39年の東京オリンピックを前にした昭和37年と昭和38年、また、「マイタウン東京構想」の一環として昭和59年、さら

に、平成25年の3度にわたって道路通称の検討が進められ、現在では区部・市部

はもちろんのこと離島も含む7ルートに道路通称が付けられています。また、区

このように、区の事業で取り上げると、ほ

「通」ではなく「アベニ」

「アベニ」



人気のNinja650。実は20歳のころZ750に乗ってました~♪

三好礼子

エッセイスト・元国際ラースト

~ <http://www.fairytale.jp/> ~

★三好礼子の★ ナチュラル・ロード

ハーバーランドの観覧車から定位置らしい海上自衛隊の潜水艦発見。感動の近さ!



どこまでも走りたくなる夕景の近畿自動車道。今回の高速道路は、どこも快適でした~♪



都市計画の中の街路(33)

ストリート・トポニミー(その8)

東洋大学国際学部・准教授 志摩 憲寿

業では、人名について「歴史的文化的に特に意義があるもの以外は用いない」とされており、実際、人名を冠した通称は見られませんが、区事業では、例え

「アベニ」



足立区の道路愛称名：カタカナやひらがなの愛称名も見られるようになった。



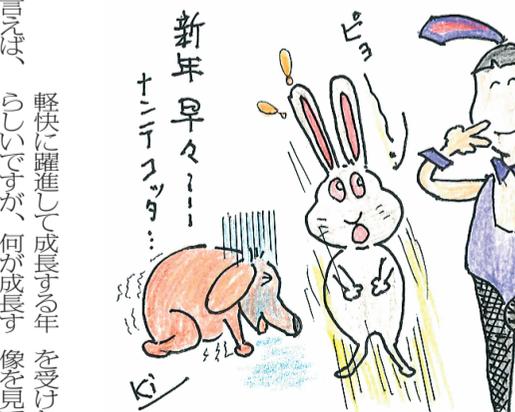
ハット 思いました

新年あけましておめでとうございませう。今年も卯年の。私の頭に浮かぶのは、

「アベニ」

「アベニ」

「アベニ」



新年早々... ナニシツ...

「アベニ」

「アベニ」